

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

### 1 学力調査に関する結果の概要

#### 【国語】

- 目的や意図に応じて、理由を明確にしながら分かりやすく書く力が身に付いている。
- 言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字や主語・述語・修飾語の関係）が身に付いている。
- 目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付ける問題に課題がある。

#### 【算数】

- 「数と計算」「変化と関係」領域の正答率が高い。
- 小数倍の意味を理解し、基準量を1としたときの比較量を正しく説明する力が身に付いている。
- 図形を構成する要素に着目し、必要な言葉や式を用いて面積を求める問題に課題が見られる。

### 2 児童（生徒）質問紙に関する結果の概要

- 将来の夢や目標をもっている子どもが多い。
- 話し合い活動を通して、考えを深めたり、広げたりすることができる子どもが多い。
- 平日（月～金）に、全く読書をしない児童の割合が高い。

### 3 取組についての評価

#### (1) 教科に関する取組

##### ① 効果があった取組

- ・学習したことを生かす場（発展・適用問題）や学びを自覚する振り返り活動の位置づけ
- ・個々の子どもが選択できる個別課題プリントの作成
- ・国語、算数で定着が不十分だった内容の重点指導

##### ② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ICTを学習活動に効果的に位置づけた授業づくり
- ・自己選択・自己決定できる場の工夫を学年協働体制で実施

#### (2) 児童（生徒）質問紙の内容に関する取組

##### ① 効果があった取組

- ・身近な課題の解決に向けた話し合い活動の設定（目標設定→挑戦→評価→・・・サイクル重視）
- ・自他の高まりを伝え合う場の設定（全員発表やMVPの取組等→可視化：学級環境）

##### ② 今後の学力向上に向けた取組

- ・コミュニティ・スクール3大事業の1つ『親子de読書』の推進
- ・ICTを活用した個別課題を取り入れた家庭学習の導入